

ポリマーセメントモルタル

1. 評価対象

「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和4年版4章2節に規定するポリマーセメントモルタルとし、コンクリート打ち放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁およびタイル張り仕上げ外壁に適用するものを対象とする。

2. 品質・性能等

- （1）品質・性能について、「評価内容（別紙）」の項目を確認している。
- （2）主要な資材について、材質および資材メーカーから申請者の製造所への納入ルートを確認している。
- （3）性能について、実施要領に規定する試験機関による試験結果等で確認している。

3. 評価名簿詳細事項

材料の接着耐久性、透水性等の詳細は、「評価名簿詳細事項」として掲載している。

評価内容（別紙）

ポリマーセメントモルタル

1

項 目			品 質 ・ 性 能	備 考	
材 料	セメント [表示項目]		[申請者の規定による。]		
	砂 [表示項目]		[申請者の規定による。]		
	混 和 材 [表示項目]		[申請者の規定による。]		
品 質	性 状		1. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2. 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存して変質しないこと。		
性 能	だ れ	下 がり 量 (mm)		5 以内	
		表 面 状 態		ひび割れの発生が無いこと。	
	曲 げ 強 さ (N/mm ²)		6.0 以上		
	圧 縮 強 さ (N/mm ²)		20.0 以上		
	接 着 強 さ (N/mm ²)	標 準 条 件		1.0 以上	
		特 殊 条 件	湿潤時	0.8 以上	
			低温時	0.5 以上	
	透 水 性		裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。		
	接着耐久性 (N/mm ²) [付帯性能]		1.0 以上		
	透 水 量 (ml/hr) [付帯性能]		0.5 以下		
	吸 水 量 (g) [付帯性能]		20.0 以下		
	長さ変化率 (%) [付帯性能]		0.15 以下		

項 目		品 質 ・ 性 能		備 考
試験方法	1. だれ試験は、JIS A 5371 に規定する普通平板 N300 の表面をワイヤブラシ等で清浄し、その上に厚さ 10mm、幅 100mm、長さ 50mm の寸法にポリマーセメントモルタルを塗り付け、塗り付け開始から 5 分後に、平らにおかれていた平板を直角に立て起し、そのままの状態です静置する。24 時間後のポリマーセメントモルタルの変形状態を観測し、その形状の異常の有無とだれ長さを測定する。			
	2. 曲げ強さおよび圧縮強さ試験は、JIS A 1171 の「7.3 曲げ強さ及び圧縮強さ試験」による。			
	3. 接着強さ試験は、JIS A 5371 に規定する普通平板 N300 の表面をワイヤブラシ等を用いて清浄し、その上に厚さ 10mm になるようポリマーセメントモルタルを塗り付け、14 日間経過した後に、その上面に縦 40mm、横 40mm、厚さ 10mm の鉄片を張り付けて単軸引っ張りを加える。			
	最大荷重 (P) を、断面積 (A) で除し、接着強さを求める。			
	接着強さの養生は、下表による。			
			平板の養生	
	項 目		塗り付け前	塗り付け後
	標準条件		温度 20±2℃、湿度 65±10%	温度 20±2℃、湿度 65±10% で 14 日間
	特殊条件	湿潤状態	温度 20±1℃の清水中に 24 時間浸漬	温度 20±2℃、湿度 65±10% で 14 日間
		保温状態 注)	温度 5±1℃で 24 時間	温度 5±1℃で 14 日間
注)：低温時では、平板同様に試料も低温状態で養生を行う。				
4. 透水性試験は、JIS A 5430 の「8.6 透水性試験」による。試験体の形状は、厚さ 10 mm、幅 300 mm、長さ 300 mm (内寸法) の型枠に、製造者の定める方法によりポリマーセメントモルタルを充填し、24 時間静置した後脱型する。その後、標準状態で 8 日間養生する。				
5. 接着耐久性試験は、JIS A 1171 の「7.5 接着耐久性試験」による。				
6. 透水量試験は、JIS A 6916 の「7.15 透水試験」による。				
7. 吸水量試験は、JIS A 1171 の「7.6 吸水率試験」による。				
8. 長さ変化率試験は、JIS A 1171 の「7.8 長さ変化率試験」による。				
9. 試験室の状態は、温度 20±2℃、湿度 60%以上とする。				